

くろしお



この夏、大方・佐賀中学校の3年生12人が、ニュージーランドへ行き、フェアフィールド中学校訪問やホームステイを通じて、異文化を体験しました。写真はオークランドのハーバーブリッジ。(特集記事4〜7ページ、関連記事25ページ)

11月の納税

- 国保税・介護保険料・後期高齢者医療保険料
- 第5期

安心・便利な口座振替をご利用ください。

主な内容

- P.2 まちのできごと
- P.4 中学生海外派遣事業報告
- P.8 くろしお子どもニュース
- P.10 健康カレンダー
- P.14 学校だよ
- P.17 役場からのお知らせ IWKTV番組予定表
- P.24 まちの掲示板
- P.25 ニュージーランド訪問団来町
- P.26 イベントカレンダー



あがまちデータ 2014(平成26)年9月30日現在

- 人口 12,221人 (前月比3人減)
【男5,798人 女6,423人】
- 世帯数 5,695世帯
- 15歳未満の年少人口 1,083人 (比率8.86%)
【男579人 女504人】
- 65歳以上の高齢人口 4,737人 (比率38.76%)
【男1,943人 女2,794人】
- 人口のうごき

増加 32人	出生10人 【男7人 女3人】	転入21人 【男9人 女12人】	職権1人 【男1人】
減少 35人	死亡22人 【男12人 女10人】	転出13人 【男7人 女6人】	



発行/黒潮町役場

〒789-1992 高知県幡多郡黒潮町入野2019番地1 (2014(平成26)年11月1日発行 印刷/(有)宿毛印刷)
 TEL 0880-43-2111(代表) FAX 0880-43-2788

ホームページ <http://www.town.kuroshio.lg.jp/> [✉ somu@town.kuroshio.lg.jp](mailto:somu@town.kuroshio.lg.jp)

黒潮若手の会が婚活イベント

9月13日、であいの里蜷川などを会場に、「第3回熱い夏の出会いin黒潮」を行いました。

町内人口の増加を目指し、独身男女の出会いの場を提供するとともに、参加者に黒潮町の魅力を肌で感じてもらえるようにと、黒潮若手の会が企画。町内外から23人の男女が参加し、そば打ち体験やパークゴルフ、バーベキューなどを楽しみました。参加者たちは、協力してイベントに取り組むうちに次第に打ち解け、過去最高となる5組のカップルが誕生しました。

黒潮若手の会では、新たな町の魅力の発信地となるよう、今後さまざまなイベントを企画していきます。

(黒潮若手の会)



町内外から独身男女23人が参加。体験イベントなどを通じて交流しました。

遊休農地解消へ農地パトロール

黒潮町農業委員会(池内弘道会長、委員20人)は、9月26日、今年度の農地パトロールを実施しました。パトロールでは、午前中は大方地区、午後は佐賀地区の農用地区域内を中心に、遊休農地の現状・実態把握や、許可案件の履行状況の確認、違反転用・不法投棄の発見に努めました。

今後は12月にかけて、担当地区の農業委員と事務局職員が巡回調査をします。

農業委員会では、調査結果を踏まえ、遊休農地所有者に「意向調査」を実施し、相談やあつせん、有効活用などに取り組み、解消につなげていく計画です。

(農業委員会)



そろいの緑色のキャップをかぶり、農地をパトロールする農業委員たち。

漫画「BTOOOM!」続刊寄贈

四万十市出身の漫画家・井上淳哉さんの漫画「BTOOOM!」を、父・博之さんから黒潮町に寄贈していただきました。

「BTOOOM!」は、月刊コミック@バンチで連載中の人気漫画で、このたび、単行本発行部数累計250万部を突破。昨年5月に寄贈を受けた11巻までに続き、今回は12巻から最新15巻が寄贈されました。また、淳哉さんからは、黒潮町への「ふるさと納税」の申し出も受けています。

漫画は、多くの方に読んでいただけるよう、大方あかつき館・入口左側の「ふれあいコーナー」に設置しています。閲覧希望の方は、同館職員にお声かけください。

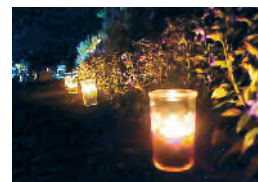


「黒潮町にも熱烈なファンがいるのでお届けしなかった」と話す井上博之さん。

キャンドルナイトin北郷

集落活動センター

北郷では、毎週金曜日に、あつたかふれあいセンター北郷(以下「あつたか」)の利用者ら



に夕食提供事業を行っています。9月26日はいつもと趣向を変え、キャンドルナイトとバーベキューを開催。発案者でもある本谷地区の佐竹進さんが、自宅の花壇や道路にキャンドルを並べ、会場を準備してくれました。

午後6時ごろから、あつたか利用者や、近隣住民ら10数名が集まり、バーベキューと手づくりの料理で会食。日没後は、キャンドルの灯りを楽しみました。



会場にはカラオケも用意。キャンドルの灯りを見ながら、楽しい時間を過ごしました。

行上映されます。お楽しみに！

作品は、来年2月の映画祭で先

キストラで参加しています。

優が勢ぞろいし、地元の方々もエ

は、地元の風景が多数登場します。

また、出演者には高知県出身の俳

監督の松田大佑さんは、四万十

市生まれ、黒潮町育ちで、映画に

は、地元の風景が多数登場します。

また、出演者には高知県出身の俳

優が勢ぞろいし、地元の方々もエ

キストラで参加しています。

作品は、来年2月の映画祭で先

行上映されます。お楽しみに！

四万十映画祭事業の一環として

企画された、四万十市発地域映画

「あらうんど四万十」カールニカ

ーラン」の撮影が、10月、四万

十市や黒潮町で行われました。

映画は、高校時代に駅伝で活躍

した男性4人が、40歳目前でもう

一度人生の輝きを取り戻そうと、

自転車ロードレースに挑戦すると

いう人間ドラマです。

監督の松田大佑さんは、四万十

市生まれ、黒潮町育ちで、映画に

は、地元の風景が多数登場します。

また、出演者には高知県出身の俳

優が勢ぞろいし、地元の方々もエ

キストラで参加しています。

作品は、来年2月の映画祭で先

行上映されます。お楽しみに！



入野駅前の居酒屋を貸し切って撮影中。

松田大佑監督が地元で映画撮影



今年、弘法大師(空海)が四国

八十八ヶ所霊場を開いて1200

年に当たります。空海にまつわる

伝説が伝えられている馬荷地区で、

9月20日、「四国遍路開創120

0年と空海の足跡を辿る会」が行

われました。かきせ川地域づくり

協議会の主催。

旧馬荷小学校で、室戸市の四国

霊場第26番金剛頂寺住職・坂井智

宏さんの講演会と、四万十市在住

のオカリナ奏者・ホンヤマカコさ

んのオカリナコンサートを開催。

約200人が来場しました。

お昼には、馬荷・御坊畑・大方

橋川地区の女性たちが手作りした

田舎風バイキングで参加者をおも

てなし。また、大師堂・七立栗・

冷泉堂など、空海ゆかりの地を回

るバスツアーも行われ、参加者ら

は、空海の生きた時代に想いを馳

せていました。

馬荷地区で空海の足跡を辿る会

ぐっち協力隊がゆく!

地域おこし協力隊・田口佳子
☎43-3306(旧馬荷小学校)

秋も一段と深まり落ち葉が風に舞い、こたつが恋しい季節になりましたね。

さて、ぐっちは通常、^{かきせ} 蛸瀬川上流域の地域おこしがお仕事ですが、他にも黒潮町内の空き家調査もさせてもらっています。

空き家をお持ちの方を訪ねて、家の写真を撮ったり、家主さんの希望などを聞いて役場のホームページに掲載し、家を探している方にご紹介しています。

空き家情報の詳細が知りたい方には、黒潮町移住者住宅支援協議会の面接を受けていただきます。(詳しくは、黒潮町役場ホームページの「黒潮町移住・交流支援」より、「情報提供システム」をご覧ください。)

今年度は、4月から9月末までに18件の空き家調査をして、8件(21人)が入居されました。

あいだに役場が入ることで、家主さんも借主さんも安心ですね。

家は人が住まなくなると、みるみる傷みが進みます。また、空き家があちこちにあるより、人が住んでくれた方が防犯にもつながります。

空き家をお持ちの方、貸してもいいかな?とお考えの方は、

- 旧馬荷小学校 田口 ☎43-3306 または
- 黒潮町役場 総務課 企画振興係 ☎43-2177 までご連絡ください。

(写真) **1**2 家主さん立ち会いのもと、空き家を調査。 **3** 県主催の移住勉強会に参加。



ニュージーランドへ行ってきました！〜平成26年度中学生海外派遣事業報告〜



芝生の校庭でサッカー



ホストファミリーと



教室も日本とは違います



クラスメイトと

17日(日)NZへ出発

いよいよ出発の日です。壮行式では、生徒代表の浜中音乃さんが決意表明を述べ、気持ちを引き締めました。高知龍馬空港から羽田空港を経由し、成田空港から11時間のフライト。明日の朝はNZです！

19日(火)ホームステイ開始

午後、ハミルトン市にあるフェアフィールド中学校に到着。現地の生徒やホストファミリーと対面し、この日からホームステイが始まります。みんな緊張気味の表情で心配です。

20日(水)学校訪問1日目

朝、生徒たちはホストファミリーと一緒に元気に登校してきました。もう打ち解けている様子です。学校訪問初日となるこの日は、マオリ式の歓迎の儀式に参加しました。ホンギと呼ばれるマオリのあいさつは、鼻と鼻をくっつけることで、お互いの呼吸を一つにするという意味があり、初対面の人を受け入れる親交の証だそうです。

18日(月)ロトルア観光

朝8時15分、定刻通りオークランド空港に到着しました。早速、空港内でNZドルに換金。クワイ(NZの国鳥)の絵柄が入った硬貨は使うのがもったいないくらいです。

専用バスでロトルア市に移動し、レインボースプリングスで巨大なマスや20メートルを超える大きなシダ、キアというオウム科の鳥など、NZにしか生育しないめずらしい動植物と触れ合いました。また、マオリ村では、先住民マオリ族の暮らしを再現した集落や、岩の間から吹き上がる間欠泉を見学しました。

21日(木)学校訪問2日目

午前中、全校生徒による異国文化の学習発表会があり、生徒たちは黒潮町というより日本代表として参加。派遣団は黒潮町の紹介(英語でのスピーチ)とよさこいソーランを披露しました。700名を超える全校生徒の前でも萎縮することなく、これまでの練習の成果を十分に発揮できたと思います。

また、引率者からは下村先生が得意の英語で運動会(Sports day)の紹介に挑戦。「KIBASEN」や「TAMARERE」などの映像を不思議そうに見ていましたが、時折「おー！」という歓声も上がり、とても興味を持ってくれた様子でした。

今年度の中学生海外派遣事業は、8月17日から28日にかけて、選考試験を突破した生徒12人をニュージーランド(以下「NZ」)に派遣しました。派遣団は、佐賀中学校から5人、大方中学校から7人の生徒と、教育委員会から1人、両中学校から1人ずつ、元ALITのアヴリルの合計16人です。

行程は、6泊7日のホームステイと、その前後にロトルアとオークランドの市内観光を盛り込んだ12日間です。

本事業の主要となるホームステイは、長年交流のあるフェアフィールド中学校の生徒のお宅に1人ずつステイさせてもらい、学校に通いながら、英語や生活習慣など、異国文化に触れ合うことで交流を深めるといふプログラムです。フェアフィールド中学校は、現在27カ国からの生徒約770人と教職員68人が在籍しており、広々とした芝生の校庭と平屋の教室が立ち並ぶ、自然に恵まれた落ち着いた環境となっています。

また、異国文化の学習がカリキュラムに組み込まれており、全校集会でその学習成果を発表するという時間も設けられています。普段からさまざまな国の文化に触れ合っているせいから、私たちが加わっても必要以上に特別扱いされるわけでもなく、気軽に接してくれるので、生徒たちは比較的学校に溶け込みやすかったのではないかと感じました。

日本の学校にはない1番の特徴といえば、マオリ式の歓迎の儀式を受けることです。敷地内には先住民マオリ族の集会所をかたどった建物があり、伝統的な踊りや歌で建物内は神聖な空気につつま



大好きなアヴリルと



英語で黒潮町を紹介



ホストファミリーと



NZの自然と文化を体験

22日(金)学校訪問3日目

この日はアンセンブリーと呼ばれる集会に参加。毎週月曜日と金曜日に開催している全校集会で、連絡事項やスポーツ活動の表彰などを行っています。今回はフランスバンド部の演奏もあり、とても盛り上がりました。集会の終わりには、黒潮町派遣団のお別れセレモニーも行ってくれました。

26日(火)NZの自然や歴史を学ぶ

この日は1日中オークランド観光です。ハーバーブリッジを渡り、南半球で一番高い電波塔、スカイタワーへ。地上で20メートルのスカイデッキからはオークランド市内が一望でき、ガラス張りの床からはスリルある景色を楽しむことができます。

続いて訪れたオークランド博物館には、NZの自然や歴史、戦争などがテーマごとに展示されており、戦争を介した日本との関わりも展示室もあります。内容が濃く、じっくり見るには1日でも足りないくらいです。

27日(水)久しぶりの日本へ

早朝の飛行機に乗るため、5時30分にはホテルを出発。日本に到着するのは夕方です。

23日(土)〜24日(日)ホストファミリーとの週末

週末、生徒たちは引率者や他の生徒と離れ、ホストファミリーと自由行動。コミニケーションは自分の英語力だけが頼りです。引率者の心配をよそに、牧場に行ったりショッピングをしたりと、思い思いに楽しんで遊ぶ生徒もいました。

25日(月)涙のお別れ

朝、生徒たちはホストファミリーに見送られ、専用バスにてオークランドへ向け出発です。みんな別れを惜しみ号泣していました。

この日は移動と観光がメイン。まず、ワイタケレ森林公園を見学しました。壮大な原生林が広がっており、シルバーファーン(シダの一種)をはじめNZ特有の動植物が保護されています。

オークランド市内に入ると、これまでの原生林や大草原から二転しての大都会に、気分がガラリと変わります。おしゃれな海辺のレストランでフィッシュアンドチップスの昼食をいただきました。

28日(木)楽しかった12日間

成田空港内のホテルに宿泊した派遣団は、羽田空港へ移動し高知龍馬空港へ。町のバスに揺られ、黒潮町に無事到着しました。副代表の池田愛果さんによる感謝の言葉で、研修を締めくくりました。

れます。

3日間の学校訪問では、生徒は2人ずつクラスに振り分けられ、それぞれの教室で授業に臨みました。教科は体育であったり数学であったりさまざまですが、生徒によっては途中参加しにくい教科もあったようですが、みんな理解しようと積極的に取り組んでいるように見えました。

今年度はホームステイ期間中に土日を含むことから、引率者や他の生徒から離れてホストファミリーと過ごす時間が2日間ある日程となっていました。日本語に頼らない時間が例年より長くなり引率者としては大変心配しましたが、生徒にとっては大きなチャンスではなかったかと思えます。

ホームステイを終え再会した生徒たちからは、「まだ日本に帰りたくない」「また会いに来たい」という声とともに、家族と過ごした思い出話をたくさんしてくれ、頼もしくもあり、私にとってもやりがいを感じたことでした。

ホームステイの他にも、オークランド市内観光や大自然に触れることのできる森林公園を訪れたり、NZドルを使って買い物したりと、充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか。

この研修を通して私自身が感じたことは、まずNZで関わってくれた方々の親切さや温かさです。ホストファミリーの皆さんは、生徒たちを優しく迎えてくれ、自分の子どもと同じように接してくれました。

また、生徒たちの頑張る姿からは多くの刺激を受けました。今回の経験を、今後の業務や自分自身の人生に生かしていきたいと思えます。

(NZ引率者 教育委員会生涯学習係長 渡辺健心)

※関連記事25ページ



「NZ研修をして思うこと」大方中学校3年 澤田 萌花

私が感じたことは、日本とNZでは文化も考え方も違うと思いました。でも、日本に似ているところもあって、あっという間に慣れることができました。

私が特に研修に行ってもよかったと思ったことは、ホームステイをした1週間です。ホームステイ先の家族はとても優しくかったです。英語もあまり通じないのにもいつも分かるまで待ってくれました。またホームステイをしに行ってみたいです。

NZの学校には3日間通いました。日本とは違うところばかりでした。モーニングティータイムというお菓子を食べる時間があったりして、日本とは違ったおもしろさがありました。もっといたいと思うほど楽しかったです。

この派遣事業を経験して、もっと英語が好きになりました。外国にも前より興味がわきました。またNZに行きたいです。

「NZで学んだこと」大方中学校3年 曾根 明香里

私は、NZでたくさんのことを学びました。週末は、ホストファミリーと一緒に出かけました。

日曜日は海に行きました。平日なら、学校で派遣団のみんなに会えるけど、1日中ずっと英語なので不安でした。まず、昼食を買って浜で食べ、ホストファミリーとサッカーをして遊びました。ホストファミリーは、私が英語をきちんと話せなくても、すぐに分かってくれました。遊びに行ったときも、すごく楽しめました。いつも気にかけてくれて、「アカリ、OK!」と聞いてくれました。ホストファミリーとお別れするときは寂しかったです。

今回、NZでホームステイなどたくさんの貴重な経験ができました。不安もあったけど、たくさんのことを学べたし、楽しかったです。

「ホームステイ。そしてNZ」大方中学校3年 野村 朋矢

NZでは、たくさんのことを学んだ。その中でも一番はやはり、ホームステイだった。

僕を受け入れてくれたベリー家のアニー、ケイラン、トム、デクランは、とても優しくだった。ホームステイでの6日間は、人生の中の大きな宝物となった。感謝の気持ちでいっぱいだった。言葉の壁を越えて、ベリー家の1人ひとりの特徴を知れた。母・アニーはとても料理上手でデザイナー。とても優しい。父・ケイランは誠実でよく笑う。数々の物のデザインを手掛けた優秀デザイナー。とても優しい。兄・トムはクールで気が利く。バスケットボールプレイヤーでとても優しい。弟・デクランは笑顔がかわいく日本が好き。陽気で明るくとても優しく、とてもいいキャラクターだ。とにかく、皆優しいベリー家だった。

別れはとても辛かった。でも、この出来事を忘れず、大切にして、これから生きて行きたい。NZに行っても良かった。

「NZ研修へ行って…」大方中学校3年 平林 呼由

NZ研修でさまざまな体験をしましたが、特に心に残っているのはホームステイです。最初の日からとても温かく迎えてくれて、私が来たことを喜んでくれました。

まず初めに驚いたことは、家の中に普通に靴で入ることです。日本のように玄関で靴を脱ぐ習慣はありませんでした。

私がとても不安だったことは、ホストファミリーと会話ができるのかということです。でも、ホストファミリーは単語でゆっくり話してくれました。私も自分で調べたり、紙に書いたり、ジェスチャーで表現したりと積極的に話しかけました。もっと英語が話せるようになりたいと思いました。

私はNZへ行って視野が広がりました。文化の違いなどを実際に体験することができ、黒潮町の中学生で本当に良かったです。これからもいろんな国へ行って、さまざまなことにチャレンジしていきたいです。

「NZ研修を体験して」大方中学校3年 宮地 光

私は最初は、ホームステイ先でちゃんとしゃべれるかな、ちゃんと聞き取れるかなといろいろ不安でした。

でもホームステイ先の人や学校の生徒もみんなすごく優しく、ゆっくりしゃべってくれたりして、そんな不安はすぐに無くなりました。学校ではクラスの子たちがNZの鳥や動物などの名前とかを教えてくれました。ホームステイ先では、日曜日にはキウイハウスという所に連れて行ってくれて、NZの鳥やキウイバードも見ることができました。他にも牧場とかにも連れていってくれました。すごいたくさんのNZの鳥が見れて楽しかったです。

今回のNZ研修では、あまり自分からしゃべりかけたりすることができなかったのも、これからはもっともっと英語の勉強をして、ホームステイ先の子たちといつか会って話したいです。

「第二の故郷」 大方中学校3年 本山 百花

私はNZで約1週間のホームステイをしました。初めは夜も眠れないほど不安でした。しかし、そんな不安もすぐに無くなりました。NZの人たちは温かく私たちを迎え入れてくれて、何よりもすごく優しくかったです。ホームステイ先の家族は、初対面の私に家族のように接してくれたり、私が聞き取れるようにゆっくりと話しかけてくれました。休日には旅行にも連れて行ってくれて、毎日、おいしい手料理も作ってくれて本当に感謝でいっぱいでした。私はNZが大好きになりました。NZの人たちの温かさ、とても豊かな自然、誰にでもフレンドリーに接してくれるところ、伝えきれないほどいい所がありすぎてびっくりしています。本当にNZに行けて良かったです。私の一生の思い出になりました。いつか、もっと英語が話せるようになって家族に会いに行きたいです。

「NZで学んだこと」 佐賀中学校3年 小橋 充幹

NZでたくさんのお話を学びました。学校生活、生活習慣、言語などたくさんのお話が日本と違っていました。初めはとてもストレスが溜まるものでした。

でも、だんだん慣れてきて、学校生活など楽しすぎて帰りたくないほどでした。みんな優しいし、とてもフレンドリーです。初めはみんながフレンドリーすぎてビックリしてしまいました。日本ではこんなこと体験できないからです。日本ももっとチャレンジとかフレンドリーなことを教えていくべきだと思います。いろんなことから逃げてばかりだと、なにも得られないし、成長できません。そうやってNZの人は学校を楽しんで成長していくんだなと思いました。

NZで日本のいいところを確認し、日本のだめなところも見つけることができました。

それをこれから社会に出ていく時、活かしていつか社会に出たとき、成功できるようにしていきたいです。

「NZで学んだこと」 佐賀中学校3年 浜中 音乃

中学生生活最後の夏休みに、NZに行かしてもらいました。私の目標は、面接でも言った、「NZの文化を知る」ということと「友達を作る」ということでした。

NZで一番楽しかったのは、やっぱりホームステイでした。すごく、会話の面で困らせたりしたと思うけど、ずっと優しく接してくれて、本当にいい人たちでした。たくさん気にかけてくれたり、話しかけてくれたので、そのおかげで、NZも楽しめたんだと思います。ホームステイ中も、まったくホームシックにならなかったことが、本当に良かったと思います。

ラム肉のおいしさにも感動しました。NZの文化でもある、ハカはすごく迫力があって楽しかったです。

何よりも、たくさん友達ができ、すごく世界が広がりました。

「NZ研修を終えて」 佐賀中学校3年 矢野 結愛

私のNZ研修は、初体験のことがとても多かったです。出発前は、自分がしゃべる英語が通じるか、ホームステイ先で失礼なことをしてしまわないだろうかなど、不安なことがあったりして、情緒不安定みたいになっていたけど、実際に行ってみると、大して英語が通じなかったりもしなかったし、ホームステイも気を使ってくれたりしてあまり困ったことはなかったので良かったです。

マオリ村やスカイタワーなど、すごく良い体験もできました。パスポートを見せるときや、荷物検査でも焦ったりすることなくスムーズにいけて良かったです。

今回の研修で学んだことを活かして、受験にも活用していきたいです。また、NZを訪れて、友達をたくさんつくりたいです。

「NZ研修を通して」 佐賀中学校3年 山崎 明

私はこの研修を通して、いろいろな体験をすることができました。海外の文化を自分の目で見て感じられたところは、とても貴重な経験になりました。実際に見て、海外のイメージというものは一変したし、日本の中の文化とは全然違うことを実感しました。

そして今回、私は研修をして、本物の英語というのを聞くこともできました。人々が日常会話で普通に使っている英語を聞いて、とても身になりました。

今回の研修を通して、私は文化の違いというものを実感したし、これからもっといろいろな国と日本との違いを学びたいと思いました。

そして、研修で学んだ実際の英語の発音や使い方などを、これからも学校で勉強する英語と合わせて、将来役立てていきたいです。

「違う文化で」 佐賀中学校3年 山下 沙希

NZでは、たくさんの人たちと交流することができました。とても良い経験だったと思います。

学校を訪問した時にはさまざまな違いに何度も戸惑いました。おやつ時間があったり、ドッチボールなどの遊びもまったく違いました。話していることばから違うのに、すぐに話しかけてくれた子や、通るたびに「Hi」とあいさつをしてくれていつの間にか友達もできていました。すごく楽しく過ごすことができました。

オークランドに着いた時から不安だらけでしたが、大方の友達、学校の生徒、ホストファミリーの人たちと仲良くできて、たくさんのお話を知れました。NZは違うことが多かったけど、黒潮町と同じように自然豊かでした。違う文化、初めてのことで、いろいろな体験ができて、すごく良かったと思います。これからの生活に活かせるよう、コミュニケーションなど、大切にしたいです。

「学生海外派遣事業」 大方中学校3年 池田 愛果

私が海外派遣事業を通して感じたことは話している言葉は違っても、心は通じるということです。

他にもたくさんあったけど、私は特にこれを感じました。

私とホームステイ先や学校の人たちは、日本語と英語という言葉の壁があったけど、向こうの人は私に分かるようにゆっくり、ジェスチャーも入れて言ってくれたりして、とても分かりやすかったです。だから言葉は通じなくても嬉しい時、楽しい時、悲しい時、いつでも顔を見れば分かるし、最初あった時は不安だったけど帰る時にはその不安もまったく無く、良い思い出がたくさん残せてとても良かったです。国は違っていてもディズニーはいつまでも私の友達です。

これを通してたくさんのお話を学びました。

本当に感謝しています。

思い出に残った大運動会

9月21日に秋季大運動会が開かれました。わたしが楽しみにしていたのは、4・5・6年生の「今日のご注文は？」という競技です。カードを引いて、それに書かれている内容をやってゴールします。「足にボールをはさんでゴールする」や「朝礼台の上で愛(夢)をさげぶ」「1年生と手をつないでスキップ」などいろいろありました。やる前、何が当たるかとてもドキドキしました。「朝礼台の上にカンを積む」のカードを見たときは、ラッキーと思いました。

もう一つ、心に残っているのは、親子リレーです。親などがいろいろな仮装をして走ります。あるお父さんは、全身黒で決めて、スパイのかっこうをしていて、とてもかっこよかったです。ぬいたりぬかれたりして最後は子どもチームが勝ちました。

地域の伝統を受け継ぐ「花とり」もおどっています。地域のお父さんがたいこをたたいてくれました。このおどりは地域が大切にしているものなので続けてほしいです。

この運動会は、わたしたち6年生にとっては、小学校最後の運動会でした。わたしの白組は負けてしまったけど、最後までがんばって力を出し切りました。いい運動会になりました。

(三浦小学校 6年 土居 茉里奈)



うそのような「大賞」受賞

田ノ口小学校では、私たちにとって、とても楽しみな取り組みがあります。それは、各学年単位で行う共同作品づくりです。私たち5年生は、2年生のときから始めてもう4回目になりました。今までに作った物は、「うんていで遊ぶ13名の仲間」や「地球を抱えた龍」、「ラックヨウの根切りの風景」などです。

今年は何を作ろうかと、みんなで考えを出し合って「入野の浜の風景」に決定しました。松原、Tシャツアート展とはだしまラソン、そして青い海です。どうしたら砂浜や松の葉、波を表現できるかいろいろな紙を使って試してみました。その結果、ふわふわ感が出たのがシュレッターをつかった新聞紙や色画用紙でした。海や砂浜に使うと自分たちが描いていたイメージとぴったりで「やったあ」と喜び合いました。

紙粘土でサーフアーやランナーも作り完成です。いの町の「紙とあそぼう作品展」に出品すると、なんと「大賞」を受賞できました。

(田ノ口小学校 5年 松本 もも)



盛り上がった大運動会

9月28日、拳ノ川小学校では、学校・地域合同の大運動会が行われました。

今年も幼児、中学生、高校生、地域のおいちゃんやおばあちゃんなどもたくさん参加してくれ、運動会を盛り上げてくれました。運動会で、今年特に盛り上がったのは、一般の「あの鐘を鳴らすのはあなた」という種目でした。出場者はアイマスクを付けて、校庭の真ん中に置かれているハンドベルを目指して歩いていくという競技でした。みんなで「右、左、真つすぐ」などと言って、みんな楽しそうでした。

今年の大運動会のテーマは、「全力、協力、団結力」でした。みんながそのテーマを意識して活やくできた運動会でした。

(拳ノ川小学校 6年 伊與木寛太・伊與木笑太・中川若菜・今西 蘭)



防ごう！インフルエンザ

◆インフルエンザとかぜの違い

	インフルエンザ	かぜ
症状	高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、せき、のどの痛み、鼻水など	のどの痛みやせきなどの局所症状
発症	急激	比較的ゆっくり
流行の時期	1～2月がピーク。ただし、4～5月まで散発的に流行することもあり	1年を通して感染する

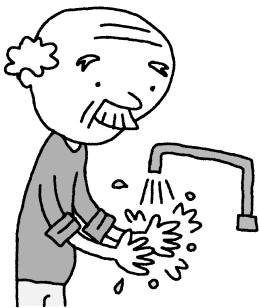
◆重症化しやすい方

- 高齢者
- 乳幼児
- 妊婦
- 慢性閉塞性肺疾患、喘息、慢性心疾患、糖尿病などの持病がある方

◆インフルエンザの予防

インフルエンザにかからないためには、流行前にまずインフルエンザワクチンの予防接種をすることが大切です。

- 流行時期には、
- ① 人混みやイベント行事などへの外出を控える
 - ② 外出時にはマスクを使用する
 - ③ 室内では、加湿器などを使用して適度な湿度を保つ
 - ④ 十分な休養、バランスの良い食事をとる
 - ⑤ うがい、手洗いの励行などの対策をとることが大切です。



◆インフルエンザワクチンについて

インフルエンザワクチンの予防接種をすることで、インフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にとどめることができます。ただし、ワクチンの効果が持続する期間は、一般的に5カ月ほどです。また、ワクチンの効果は、年齢、本人の体調、免疫状況、そのシーズンのインフルエンザの型によっても変わります。

特に、免疫力や抵抗力の弱い乳幼児や高齢者、慢性疾患をお持ちの方は、インフルエンザが重症化しやすいので、かかりつけ医などとよく相談のうえ接種することをおすすめします。



◆インフルエンザかな？と感じたら

- 単なるかぜだと軽く考えずに、早めに医療機関を受診してアドバイスを受けましょう。
- 安静にして、できるだけ休養を

とりましょう。特に、睡眠を十分にすることが大切です。

- 水分を十分に補給しましょう。
- インフルエンザは「他の人うつさない」ことが大切です。インフルエンザかなと感じたら、マスクを着用し、無理して学校や職場などに行かないようにしましょう。

インフルエンザは、感染力がとて強いので、診断を受けて熱が下がったあとも、2日程度は他の人にうつす可能性があります。熱が下がって症状が治まってからも、2日ほどは職場や学校に行かないようにし、自宅療養することが望ましいでしょう。

「かからない」「うつさない」ために、自分ができる予防対策を行い、感染予防、感染の拡大防止に努めましょう。

○お問い合わせ

本庁 健康福祉課 保健衛生係

☎ 43-2836 (直通)

佐賀支所 地域住民課

保健センター

☎ 55-7373 (直通)

健康カレンダー

11月中旬から12月中旬までの健康に関する行事予定です。
変更となる場合がありますので、担当係にご確認ください。



○お問い合わせ
本庁 健康福祉課 保健衛生係
佐賀支所 地域住民課 保健センター
☎ 43-2836(直通)
☎ 55-7373(直通)

大方地域

注)表中の※印は、受付時間となります。

11月	内 容	場 所	時 間
17日(月)	伊田ふれあいサロン	伊田浦老人憩の家	9:30~12:00
	芝ふれあいサロン	芝集会所	10:00~12:00
18日(火)	子宮がん検診	加持ふれあいセンター	※10:00~10:20
		鞭老人憩の家	※11:00~11:20
		上田の口集会所	※13:30~13:50
		JA高知はた南部事業所	※14:30~15:00
	錦野ふれあいサロン	錦野集会所	10:00~12:00
19日(水)	新町ふれあいサロン	新町集会所	10:00~12:00
20日(木)	大方橘川健康相談	大方橘川集会所	10:00~11:00
21日(金)	鞭ふれあいサロン	鞭老人憩の家	9:30~12:00
25日(火)	大腸がん検診 容器配布 (未受診者対象)	有井川集会所	※ 9:00~ 9:05
		上川口分団消防屯所前	※ 9:15~ 9:25
		鞭老人憩の家	※ 9:40~ 9:50
		上田の口集会所	※10:10~10:20
		下田の口コミュニティセンター	※10:30~10:40
		田野浦集会所	※11:00~11:10
		保健福祉センター	※11:30~11:40
下田の口ふれあいサロン	下田の口コミュニティセンター	9:30~12:00	
28日(金)	大腸がん検診 容器回収 (未受診者対象)	25日配布場所	9:00まで
12月	内 容	場 所	時 間
1日(月)	肺がん検診(未受診者対象)	中馬荷集落センター	※ 9:00~ 9:05
		上田の口集会所	※ 9:35~ 9:45
		土佐西南大規模公園体育館	※10:05~10:20
		JA高知はた南部事業所	※10:45~11:10
		保健福祉センター	※11:35~11:45
		加持ふれあいセンター	※13:20~13:30
		湊川ふれあいセンター	※13:55~14:00
		鞭老人憩の家	※14:25~14:40
		蜷川消防コミュニティセンター	※15:05~15:15
		上川口分団消防屯所前	※15:30~15:45
有井川集会所	※16:10~16:20		
4日(木)	灘健康相談	灘集会所	9:30~10:30
5日(金)	早咲ふれあいサロン	早咲集会所	10:00~12:00
8日(月)	愛育相談	地域子育て支援センター (大方中央保育所内)	※9:30~10:30
	出口ふれあいサロン	出口集会所	10:00~12:00
10日(水)	子宮がん検診(未受診者対象)	保健福祉センター	※10:00~11:00
	3歳児健診	保健福祉センター	※13:00~13:30
11日(木)	上川口浦ふれあいサロン	上川口浦集会所	10:30~13:00
12日(金)	入野本村ふれあいサロン	入野本村集会所	10:00~12:00
	浮津ふれあいサロン	浮津集落センター	9:30~12:00

佐賀地域

注)表中の※印は、受付時間となります。

11月	内 容	場 所	時 間
17日(月)	愛 育 相 談	佐賀保育所	9:30~11:00
18日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
19日(水)	乳 児 健 診	総合センター	※13:00~13:30
21日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
25日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
26日(水)	鈴 ふ れ あ い サ ロ ン	鈴漁民センター	10:00~13:00
27日(木)	漁民ふれあいサロン	漁民センター	9:30~11:30
28日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
12月	内 容	場 所	時 間
2日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
	佐賀ふれあいサロン	総合センター	10:00~14:30
5日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
9日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
11日(木)	上分ふれあいサロン	上分集会所	9:30~11:00
12日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00

使用済小型家電の無料回収を始めます!

使用済小型家電は、大切な資源です。

小型家電には、レアメタルなどの貴重な資源が含まれていますが、鉄・アルミ類を除き、ごみとして捨てられています。この大切な資源を再生利用するため、使用済小型家電の無料回収を始めます。ごみの減量・再資源化に皆様のご協力をお願いします。



キャラクター:こでんカエルくん

◆回収開始 11月14日(金)～

◆回収対象 電気・電池で動く家庭用の使用済小型家電とその付属品 ※詳しくは別途配布するチラシをご覧ください。



◀回収できない品目▶ ・家電リサイクル法対象4品目「テレビ」、「冷蔵・冷凍庫」、「洗濯・乾燥機」、「エアコン」
・電気マッサージチェア、電気カーペット ・事業所で使用していたもの ・個人情報を含んだままの状態のもの

◆回収方法

①ボックス回収

町内9カ所に回収ボックスを設置します。「こでんカエル」くんが目印です。

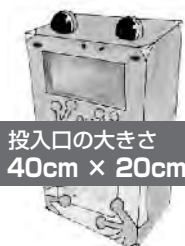
【設置場所】・役場本庁・役場佐賀支所・大方町民館・佐賀町民館・コーナン(ホームストック黒潮店)・サンシャイン大方・上川口郵便局・土佐佐賀温泉こぶしのさと・道の駅なぶら土佐佐賀

②持込回収

ボックスに入らないものは下記へ直接お持ち込みください。無料で引き取ります。

【持込み窓口】

- ・役場 本庁 住民課
- ・役場 佐賀支所 地域住民課
- ・幡多中央環境センター(四万十市竹島2932-3)



投入口の大ささ
40cm × 20cm

※ボックスのイメージ

【お問い合わせ】本庁 住民課 環境保全係 ☎43-2800(課直通)



介護保険ガイド

● 介護保険広報シリーズ 103 ●

認知症について

認知症はだれにでも起こりうるもので、始めはもの忘れと区別がつきにくい脳の病気です。

85歳以上では4人に1人その症状があるといわれており、今後大幅に増えることが予想されています。いつ、だれが認知症になるか分かりません。認知症になっても安心して地域で暮らせるように、他人の問題ではなく「自分の問題」という認識を持ち、認知症を正しく理解することが大切です。

11月29日(土)、
大方あかつき館で
「認知症予防講演会」
が行われます。
詳しくは、28ページ
をご覧ください。

◆ 認知症とは？

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞がダメージを受けて働きが悪くなることで、さまざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態（およそ6カ月以上継続）を指します。

◆ 病気として理解し「早期発見・早期治療」を心がける

適切な治療やケアをすることで症状を軽くしたり、進行を遅らせたりできる場合がありますので、早めにかかりつけ医や専門医（もの忘れ外来、老年内科、精神科、神経科など）の受診をおすすめします。

認知症にはこんなサインがあらわれます ～サインを見逃さないで！～

- 最近の出来事が思い出せない、全く覚えていない
- 物を置き忘れる
- 日付や曜日、簡単な計算が分からない
- 同じ質問を何度もする など

◆ できない部分を補いましょう

認知症かもしれないと悲しんでいるのは本人です。周囲の人が、認知症の人やその家族の気持ちを理解し、できない部分を補えば、自分でできることが増え、おだやかに暮らしていくことができます。

認知症の人への対応の心得（3つの「ない」）

- 驚かせない
- 急がせない
- 自尊心を傷つけない

具体的な対応の7つのポイント

- まずは見守る
- 余裕をもって対応する
- 声をかけるときは1人で
- 後ろから声をかけない
- 相手に目線を合わせて優しい口調で
- おだやかにはっきりと話す
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

◆ 認知症を予防しよう ～運動、食事、生活のしかたが大事～

運動や趣味を楽しんだり、仲間との付き合いや社会活動で生活にメリハリをつけることで脳の働きが活発になります。また食事にも気を付け、バランスの良い食生活を送りましょう。

介護保険料は大切な財源です。納付期限までにお納めを ～安心で便利な口座振替を！～

【お問い合わせ】 本庁 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116(課直通)

みんなでささえる 国保会計



～医療費について～

医療機関にかかった時、領収書と一緒に診療明細書をもらうことがあると思いますが、内容をじっくり見たことがありますか？

診察や検査・調剤にかかる費用は、項目ごとに点数が決まっています(全国一律)。

医療機関を受診すると、初診または再診、曜日や時間などで、平日は①または③+(⑤～⑧)、休日は②+④+(⑤～⑧)などで点数を合計し、1点に10円をかけた額が医療費(費用額)となります。また、検査や投薬などがある時は、別に検査料や調剤料が加算されます。

※⑤～⑧の組合せは、医療機関によって異なります。

主な項目	点	主な項目	点
①初診料	270	⑤薬剤情報提供料	10
②初診料(休日)加算	520	⑥明細書発行体制等加算	1
③再診料(200床以下)	69	⑦処方箋料	68
〃 (200床以上)	70	⑧外来管理加算	52
④院内トリアージ実施料	100		

医療費は、被保険者が自己負担分(年齢や世帯の所得によって、1割～3割まで負担割合に差があり)を支払い、それぞれが加入する保険の保険者(国保や協会けんぽ、後期高齢者医療など)が医療費の残りの額(保険者負担分)を医療機関に支払います。

●重複受診はやめましょう

同じ病気で複数の病院にかかる事を「重複受診」といい、病院を変えるごとに初診料がかかり、同じ病院を再診する場合と比べると1回に約2,000円の医療費が余分に必要となります。重複受診は医療費の増加だけでなく、検査などを繰り返すことで体の負担もかかります。

●お薬手帳を持ちましょう

せっかく処方されたお薬を飲み残したり、医師の指示どおりに服用しなかったりしていませんか？ 不必要に薬を欲しがったあげく、余らせて捨ててしまうことはないですか？

お薬の中には飲み合わせが悪い物があり、期待どおりの効果が得られないケースや、最悪の場合は副作用を生じることがあります。お薬手帳があると服用歴などが管理できますので、飲み合わせの悪い物を避けることも可能です。「かかりつけ薬局」を持ち、薬剤師の指示を受けましょう。

先月の広報でもお知らせしたように、黒潮町国保の保険者負担額は年間12億円以上(後期高齢者医療分含まず)にもなります。医療費の増加は、国保税の負担増につながりますので、「医療機関の適正受診」により医療費の節約にご協力をよろしくお願いします。

医療機関の適正受診

- かかりつけ医を持つ。
- 重複受診をしない。
- 薬は正しく服用する。ジェネリック医薬品を利用する。
- 時間外は、緊急を要する時のみ受診する。

○お問い合わせ 【本 庁】住民課 国保係 ☎43-2800(課直通)
 【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第2係 ☎55-3112(課直通)

上川口小学校

「のちを輝かす」

『やりぬく力の育成』

― 挑戦・不屈・努力 ―

校長 前田 浩文

◆はじめに

本年度(平成26年度)、「上川口小学校」と「伊田小学校」が統合し、新たなスタートを切りました。

互いの学校・地域のよき伝統や文化を活かしながら、子どもたちが、安心して生活ができ、自由に表現し、そして、

自分に自信のもてるような学校を創造することを念頭に置きながら取り組んでいます。

4月の出会いから、50人の子どもたちが、互いに思いやりながら楽しく学校生活を送っています。それが何よりうれしいことです。

◆学校教育目標

「いのちを輝かす」「やりぬく力の育成」「挑戦・不屈・努力」

ある心理学者の調査によると、自分の夢や目標を達成した人が備えている力は「やりぬく力」であり、その力の源は「自尊感情や成功思考」の高さによると結論づけていま

す。そうした側面から「やりぬく力の育成」として本校の教育目標に位置づけました。

この目標を基に、私たちは、校内の研究について「自分の考えや思いを伝え、判断し行動できる児童の育成を目指して」というテーマを設け、取り組んでいます。思考し、判断し、表現し、行動できる状態は、自信を持って、他者と協働・共生できる力であり、教育目標に近づくことができます。

◆学力向上
ICTで授業改善

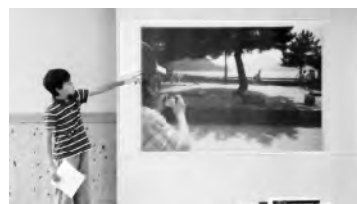
授業改善の一つのツールとして、ICT(情報通信技術)教育に取り組んでいます。全学級に大型テレビモニター、パソコン、書画カメラを設置して、子どもたちが楽しく、より分かる授業を創造しています。



国語科でICT

本校の学力調査結果を分析すると、応用問題の正答率の高さとプレゼンテーション

ン能力の高さには相関関係があることが分かります。現在、6年生は、全員がパソコンを使ってプレゼン資料を作り、説明ができます。子どもたちにとつてもICTは、多くの情報を整理し、相手に分かるように伝えるための編



平和学習プレゼン

集能力を、楽しみながら身につけることができる上で効果的です。

このような「伝える力」をいかに育てるかという視点で、学力データを活用しています。

平成26年度 標準学力調査結果

(全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年	6年
国語	0.95	0.91	1.13	0.90	—
算数	0.95	0.95	1.10	0.96	—
理科	—	—	1.00	0.89	1.04

◆豊かな心く生き方に学ぶ

私たちは、授業はもちろんのこと、すべての教育活動において「褒めて・認めて・励ます」というモットーで臨んでいます。子どもたちのあ



朝会・読書時間

書活動の奨励、そして、人権教育参観日、キャリア教育参観日など、講師を招いて講演会を開くことなどを通して、人としての生き方について学んでいます。

◆体力向上く多様な動き

毎朝のマラソン(くじらっこタイム)から1日がスタートします。体育の授業の充実のもとより、水泳記録会、運動会、陸上記録会、マラソン大会などの行事と関連させながら、多様な動きと体力を高

めるために年間を通して計画的に取り組んでいます。

◆防災教育く人間力の涵養

本校は、高知県実践的防災教育推進事業の指定校として、取り組んでいます。

地震・津波のメカニズムについての知識学習を基に、「思考力・判断力・表現力・行動力」の基礎を養うための教科学習、そして、避難訓練を通して実践的な学びを深めていきます。また、保護者・地域とのつながりを図るために、防災教育参観日を設け、講演会や引き渡し訓練、炊き出し訓練を企画・実践しています。このような取り組みを通して、自らの命を守り、家族や友だち、地域の方々を思いやる人間力を養いたいと考えています。



引き渡し訓練

田ノ口小学校

『意欲的に活動し、心豊かにたくましく生きる児童の育成』

校長 溝淵 雅一

◆朝の活動はいいさつ運動から

田ノ口小学校は、9月より1年生に転校生が加わり、現在59名の児童数である。子どもたちの登校は比較的早く7時ごろから始まり、8時前、馬荷からのスクールバス到着で終了する。あいさつ運動は、児童会により毎週月曜日の朝、登校時間帯に行っている。その成果からか、地域の皆さんからも「元氣よく明るいあいさつができています」との評価をいただけるようになってきている。

◆朝マラソンで心身の強化



8時5分、準備運動をする中、体育委員会から放送が入り朝マラソンが始まる。音楽に合わせ低・高学年で内・外回りに分かれ自分たちのペースでトラックを周回している。走った回数は、朝の会で個々の記録として残し、子どもたちの励みになっている。

◆読書力の構築に向けて…



火・木 曜日の始業前、4人の読書ボランティアさんと図書館支援員さん

◆地震・津波から命を守る…



提示の本年度の標準学力調査の結果においては、どの学年も正答率の平均は、ほぼ全国と同等であるといえるが、全国学力テストではわずかではあるが国語B（活用する力を問う）でマイナス面が見える。引き続き日々の授業の改善や家庭学習の定着を大切にし、意欲をもって学ぶ姿勢を育てていきたい。また、学んだ知識を活用するための言語能力を育む取り組みを進めている。同時に子どもたちが楽しく学べる学習集団づくりに全力を尽くしていきたい。

平成26年度 標準学力調査結果 (全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	0.99	1.07	1.02	1.08
算数	0.94	1.05	1.06	1.02

◆今、仲間と共に…

「学校は楽しい」とほとんどの子どもが言ってくれる。休み時間には、すべり台や雲梯などの遊具や一輪車、サッカーなど、それぞれの好みでグループが形成され、楽しく遊ぶ姿があらこちらで見られる。そんな子どもたちに、力を合わせ一つの物を完成させる集団づくりを行っている。今年もそれぞれの学年でテーマを決め共同作品づくりに取り組んだ。子どもたちの知恵は無量大で次々にアイディアが浮かび作品に取り入れていった。仲間と連携し協力していく時間がゆつくり流れた。



与えているのであるが、その曲決めから内容の場面構成までをほぼ子どもたちで考え決めているのである。それも低学年を含めた希望者の集団のため、能力差や限られた時間の中、早朝練習を繰り返して、今年も校庭いっぱい大きな花を咲かせ自信をつけてきている。

◆コミュニティスクール

地域の皆さんにあらゆる場面でご支援をいただいているのであるが、その一つに「開かれた学校づくり推進委員会」がある。区長さんや民生委員さん、PTA役員が中心になって学校への提言をいただいている。今年、先進校である大川村の大川小学校との交流を行う中、県の指定を受け「開かれた学校づくり…」を基盤に「コミュニティスクール」の立ち上げを行っている。



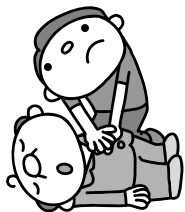
**自主防災力を
継続・向上させよう！**

阪神・淡路大震災では、生存者を救出できたのは、大部分が3日目まででした。

このような傾向は他の大地震でもみられ、地震発生から最初の3日間は、人命を救助するために非常に重要な「黄金の72時間」と呼ばれています。

人命救助に最も大切な地震発生後の72時間を中心に、県、市町村、防災関係機関などでは、人命を救う応急活動を最優先に行います。

しかし、次の南海トラフ地震では、高知県の広い範囲で甚大な被害が発生し、公的な救助活動が被災地全域に行き渡らないことも想定されます。そのため、地域で助け合って救助活動を行うことが重要となります。



地域の防災サポーター養成講座

— 参加者募集のお知らせ —

●目的

今世紀前半の発生が予想されている南海地震対策として、一定の知識と技術を有する人材を育成することで、被害を軽減するとともに、被災後の地域の維持・継続に寄与することを目的とします。

●受講対象者 定員30人

町内在住の方で、防災サポーターとして各地域で活動する人材育成の必要性に賛同し、全講座を受講可能な方

●地域防災サポーターの認定

講座をすべて受講した方を「黒潮町地域防災サポーター」と認定し、認定証を発行するとともに、地域で活動する際に使用するユニホームを支給します。なお、全日程を受講できなかった方についても、別の日程や次年度以降などで同等の補講が終了すれば、認定できることとします。

●講座日程

第1講座 座学

★災害や防災の知識を学びます。
日時：11月23日(日) 9:30~12:00
講師：高知地方気象台ほか
会場：幡多青少年の家(上川口)

第2講座 救命講習

★救命に対する技術・知識を学びます。
日時：12月6日(土)・7日(日)
9:00~12:30
講師：黒潮消防署
会場：黒潮消防署(伊田)

第3講座 講話・実技

★災害時に各地域でみんなができる技術・知識を学びます。
日時：12月21日(日) 10:00~15:00
講師：阪神大震災語り部
日本防災士会高知県支部
会場：幡多青少年の家(上川口)



※各会場までの移動は、各自をお願いします。

●申込期限 11月14日(金)

●お申し込み 本庁 情報防災課 南海地震対策係・消防防災係 ☎43-2188(課直通)

11月28日(金) 午前11時

告知端末などを用いた全国一斉の「緊急情報伝達訓練」を行います!

※ 詳細は各区長より班回覧を行いますので、内容をご確認ください

○お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-2188(課直通)

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113(直通)

ねんきんコーナー

国民年金保険料は全額が
社会保険料控除の対象です

国民年金保険料は、所得税や住民税の申告において、全額が社会保険料控除の対象となります。控除の対象となるのは、平成26年中に納付した保険料です。また、ご家族の保険料を支払った場合にも、控除の対象となります。

社会保険料控除を受けるためには、納付したことを証明する書類（社会保険料（国民年金保険料）控除証明書や領収証書）の添付が義務付けられています。

平成26年1月1日～9月30日に納付した方には11月上旬に、10月1日～12月31日に今年初めて保険料を納めた方へは翌年2月上旬に、日本年金機構から社会保険料控除証明書が送られます。

申告書提出の際には、この証明書、または領収証書を添付してください。

11月30日は「年金の日」

厚生労働省では、皆さんに「ねんきんネット（ホームページ上で年金記録の照会などができるサービス）」などを活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日として、11（いい）月30（みらい）日を「年金の日」としました。この機会に、年金記録や将来の年金受給見込額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」については、日本年金機構のホームページで確認するか、お近くの年金事務所へお問い合わせください。

○お問い合わせ

黒潮町役場

本庁 住民課 住基戸籍係

☎ 43-2800（課直通）

佐賀支所 地域住民課 総合窓口第2係

☎ 55-3701（直通）

日本年金機構 幡多年金事務所

☎ 34-1616



黒潮町ケーブルテレビ
11月番組予定表

19日～26日黒潮町音楽祭特集を放送!!

番組	放送時間
番組案内	6:00 10:30 15:00 19:30
IWK NEWS	6:05 10:35 15:05 19:35
おしえて食改さん	6:20 10:50 15:20 19:50
黒潮町版健康体操～ロコロ体操～	6:30 11:00 15:30 20:00
行政チャンネル	6:45 11:15 15:45 20:15
防災チャンネル	6:55 11:25 15:55 20:25
えいちゃ! 知っ得! くろしお町	7:05 11:35 16:05 20:35
耳をすまして	7:15 11:45 16:15 20:45
図書館どうでしょう	7:30 12:00 16:30 21:00
ザ☆黒潮人	7:35 12:05 16:35 21:05
お話玉手箱	7:50 12:20 16:50 21:20
くろしお☆チルドレン	8:05 12:35 17:05 21:35
JCC三人娘が行く	8:15 12:45 17:15 21:45
サイエンスチャンネル	8:25 12:55 17:25 21:55
Kochi on TV!	8:40 13:10 17:40 22:10
片さんのFish!おふ	9:40 14:10 18:40 23:10
ショッピングチャンネル	24:00～6:00

IWKTV加入についてのお問い合わせは
光ネットワークサービスセンター まで
営業時間 9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

☎ 0800-200-1373

番組内容の更新は、毎週水曜日の15:00です。

お知らせ

★黒潮町音楽祭特集

大方地区・佐賀地区音楽祭を放送します。
放送期間：11/19（水）～26（水）
※放送時間は、テレビの電子番組表などでご確認ください。

★ご注意ください!!

ケーブルテレビでのデジアナ変換サービスは2015年3月までに終了します。

地デジチューナーの無料給付制度があります

給付対象世帯などについて詳しくは、総務省地デジチューナー支援実施センターへ。
☎0570-034-037（ナビダイヤル）
※ナビダイヤルが利用できない場合
☎03-4334-2754

注) 放送内容などは予告なく変更する場合があります。「電子番組表」で正確な内容が確認できます。（デジアナ放送を視聴の方以外）

IWKTVの放送時間・番組などに関するお問い合わせは 黒潮町役場 本庁 情報防災課 情報推進係 または IWKTV制作室まで

【情報推進係】 ☎43-2188 | 【IWKTV制作室】 ☎43-0500
(課直通)

臨時福祉給付金のお知らせ

「臨時福祉給付金」とは、平成26年4月からの消費税率の引上げに伴い、所得の低い方々への負担の影響を考え、暫定的・臨時的な措置として、支給される給付金です。

◆支給対象者

平成26年度分の住民税(均等割)が課税されない方

※ご自身を扶養している方が課税されている場合や、生活保護制度の被保護者となっている場合などは対象外。

◆支給額

支給対象者1人につき1万円

※給付対象者の中で、次に該当する方は5千円が加算されます。

● 高齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金などを支給されている方

● 児童扶養手当、特別障害者手当などを支給されている方

◆申請期限

12月26日(金) ※当日消印有効

◆申請方法

対象となる方は、平成26年1月1日時点で住民票のある市区町村に申請が必要です。

黒潮町では、支給対象と思われる

方への申請案内を7月下旬に送付しています。申請書を同封していただきますので、申請期間内に役場担当窓口へ提出してください(郵送も可)。

◆給付方法

申請書受付後、審査のうえ、支給対象者の指定口座へ随時振り込みます。

○お問い合わせ

本庁 健康福祉課福祉係

☎ 43-22116 (課直通)

佐賀支所 地域住民課

総合窓口第2係

☎ 55-3112 (直通)

「子育て世帯臨時特例給付金」の申請はお済みですか?

平成26年4月からの消費税率の引上げに伴い、子育て世帯の家計への負担を減らし、消費の下支えを図るために、児童手当を受給している方に、「子育て世帯臨時特例給付金」を支給しています。

対象者の方は、忘れずに申請期間内に役場担当窓口へ申請してください(郵送も可)。

対象者の方は、忘れずに申請期間内に役場担当窓口へ申請してください(郵送も可)。

◆支給対象者

次の2つの要件を満たす方

①平成26年1月分(平成26年1月

1日生まれの児童は2月分)の児童手当・特例給付を受給

※特例給付とは、児童1人当たり月額5千円が支給されること。

②平成25年中の所得が児童手当の所得制限限度額未満

【扶養親族の数と所得制限限度額】

扶養親族	所得制限限度額
0人	622万円
1人	660万円
2人	698万円
3人	736万円
4人	774万円
5人	812万円

※扶養親族などの人数が6人以降は、1人増えるごとに38万円を所得限度額に加算。

※所得税法に規定する老人控除対象配偶者または老人扶養親族がいる場合は、1人につき6万円を加算。

◆対象児童

支給対象者の平成26年1月分(平成26年1月1日生まれの児童は2月分)の児童手当・特例給付の対象となる児童

※「臨時福祉給付金」の対象となる児童や、生活保護制度の被保護者にあたる児童は対象外。

※申請・支給時に中学校を卒業している場合も、対象児童に含む。

※平成26年1月1日以後に亡くなられた児童は対象外。

◆支給額

対象児童1人につき1万円

◆申請期限

12月26日(金) ※当日消印有効

◆申請方法

対象となる方は、平成26年1月1日時点で住民票のある市区町村に申請が必要です。

黒潮町の対象者(公務員受給者以外の方)には、案内書と申請書を送付していますので、申請期間内に役場担当窓口へ提出してください(郵送も可)。

公務員受給者の方は、勤務先から交付された「申請書」と「受給証明書」を申請期間内に提出してください。

◆給付方法

申請書受付後、審査のうえ、支給対象者の指定口座(児童手当で登録している口座など)へ随時振り込みます。

○お問い合わせ

本庁 住民課 住基戸籍係

☎ 43-2800 (課直通)

佐賀支所 地域住民課

総合窓口第2係

☎ 55-3701 (直通)

「臨時福祉給付金」や「子育て世帯臨時特例給付金」の「振り込め詐欺」や「個人情報」の「詐欺」にご注意ください!!

- 市町村や厚生労働省がATM（銀行などの現金自動支払機）の操作をお願いすることは絶対にありません。
- ATMを操作して、他人からお金を振り込んでもらうことは絶対にできません。
- 市町村や厚生労働省が、給付金支給のための手数料の振込を求めることは絶対にありません。

**くろしお太陽光発電所
10月20日から売電開始**

黒潮町では、電気固定価格買取制度開始を受けて、県が進める「こうち地域還流再エネ事業スキーム」により、太陽光発電事業を県と事業化しました。

高知県・黒潮町・福留開発(株)の3者で協定を結び、平成26年3月に「こうち・くろしお太陽光発電(株)」を設立。5月より、太陽光発電所の建設を、入野の町有地にて進めてきました。

今後、年間発電量を約67万kWh（一般家庭約186世帯分）とし、電力受給契約先である四国電力(株)に、1kWh当たり36円（税抜き）で売電していきます。

○お問い合わせ
本庁 住民課衛生施設整備係
☎ 43-2800（課直通）

動物は愛情と責任をもって最後まで飼いましょー!!

飼い主が責任をもって終生飼育することを義務付けた、改正動物愛護管理法(平成25年9月1日付)が施行されて1年が過ぎました。しかし、依然として動物を捨てる人があとを絶ちません。

飼い猫や飼い犬を最後まで愛情と責任をもって飼育することは、わたしたち飼い主の重要な責務です。不妊手術や去勢手術、また次の飼い主を見つけるなどの方法もあります。捨て猫、捨て犬を出さないためにも、責任をもって終生飼うようにしましょう。

○お問い合わせ
本庁 住民課環境保全係
☎ 43-2800（課直通）
佐賀支所 地域住民課総合窓口第1係
☎ 55-3113（直通）

**10月から父子家庭も対象に！
「母子・父子・寡婦福祉資金
貸付制度」**

母子家庭・父子家庭・寡婦の方の生活の安定のために、各種資金の貸付を行っています。資金の種類によって、貸付限度額や償還期間、据置期間、利率などが異なりますのでご注意ください。

- 【貸付の種類】**
- ◆**就学支度資金**
児童の入学に必要な被服などの購入資金（小・中学校については所得制限あり）
 - ◆**修学資金**
児童の高校・大学などへの修学資金
 - ◆**事業開始資金**
事業を開始するために必要な設備・什器・機械などの購入資金
 - ◆**事業継続資金**
現在継続中の事業に必要な商品・材料などを購入する運転資金
 - ◆**技能習得資金**
技能や資格を得るために必要な交通費・授業料・材料購入資金
 - ◆**就職支度資金**
就職に必要な洋服、履物などの購入資金

◆**修業資金**

児童が事業開始または就職するための知識技能習得資金

◆**医療介護資金**

医療費または介護費

◆**生活資金**

技能習得中および医療・介護を受けている期間の生活費補給資金、失業中の生活安定資金

◆**住宅資金**

住宅の建築・購入・増改築・補修保全資金

◆**転宅資金**

転居時の住宅の賃貸・家財運搬費など

◆**結婚資金**

児童の結婚への必要資金

○お問い合わせ・手続き先
本庁 健康福祉課福祉係
☎ 43-2116（課直通）
佐賀支所 地域住民課
総合窓口第2係
☎ 55-3112（直通）

**11月は
「児童虐待防止推進月間」です。**

幡多児童相談所
☎ 37-3159
黒潮町役場
本庁 健康福祉課 福祉係
☎ 43-2116（課直通）

「黒潮町人権教育推進講座」が始まります！

◆第1講座 11月27日(木)

「みんなが幸せに生きるとは…」

～人権は身近にあるもの～

①人権ワークショップ(事務局)

★②講演 森 美栄さん

◆第2講座 12月15日(月)

「差別って何ですか？」

～子どもたちが抱える問題とは～

★①視聴覚教材

坂田かおりさん親子

「母娘で問うた部落差別」

★②講演 大湾 昇さん

(徳島県・止揚の会)

◆第3講座 平成27年1月20日(火)

「部落差別問題の現状」

～黒潮町の課題について～

★①住民人権意識調査の報告他

②講演 山中千枝子さん

◆第4講座 2月27日(金)

「高知の実態・社会の実態」

～今だからこそ、つながろうよ～

★①講演 塚地和久さん

(高知新聞社編集委員)

★②コンサート 森 秀一さん

★印はオープン講座です。

黒潮町では「人権文化豊かなまちづくり」を推進するために、「黒潮町人権教育推進講座」を開催します。

この講座は、「差別のない明るい黒潮町をめざして地域ぐるみの人権教育を推進するため人権教育の講座を計画的に実施し、人とのつながりを大切にできる、地域に根ざした指導者を育成すること」を目的としています。

今年度は上記の内容で、各講座、多彩な講師の方をお招きして実施します。事前申し込みのいらぬ『★オープン講座』もあります。多くの方のご参加をお願いします。詳しい内容や時間などについては、お問い合わせください。

受講生募集中！

募集人数 40名

募集対象 町内にお住まいまたは町内にお勤めの方

募集期限 11月17日(月)

受講料 無料

○お申し込み・お問い合わせ

教育委員会 人権教育係

☎55-3190(課直通)

本庁住民課 人権啓発係

☎43-2800(課直通)

平成27年成人式 新成人代表者募集

平成27年「黒潮町成人式」の新成人代表者を募集します!!

20歳の素晴らしい記念になると思いますので、われこそは!と思う方の募集をお待ちしています。なお、応募多数の場合は、教育委員会にて抽選とさせていただきますのでご了承ください。



- ◆対象者 平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれで、次のいずれかに該当する方
 - ①町内に住所を有する方
 - ②町内の中学校を卒業した方
 - ③町内の小学校を卒業し、町外の中学校を卒業した方
- ◆募集人数 3人(誓詞、記念品授与、花束贈呈 各1人) ※誓詞=成人の誓い
- ◆募集期限 11月28日(金)
- ◆応募方法 電話・FAX

黒潮町成人式

日時／平成27年1月3日(土) 受付：午後0時30分～ 式典：午後1時30分～
 場所／ふるさと総合センター(黒潮町入野) 大ホール

○お問い合わせ・応募先 教育委員会 生涯学習係(担当：渡辺・明神)

☎55-3190(直通) ☎55-3850

白石団地 第2次宅地分譲
11月4日から開始します

白石団地は、山や川・水田など自然に囲まれた豊かな環境です。また、団地のすぐ近くに高規格道路のインターチェンジができる予定であるため、交通の利便性も良いところではあります。

今回、分譲する区画は下図の太枠部分の9区画です。分譲条件として、宅地分譲契約締結後から3年以内に住宅の完成などがあります。

募集要領、申し込みなどの詳細については、建設課までお問い合わせください。

◆分譲区画 9区画

●面積帯 267㎡(80・7坪)～
336㎡(101坪)

●価格帯 480万円～669万円

◆申込方法

建設課で配布する指定の申込書を提出してください。

◆申込受付期間

11月4日(火)～

平成27年3月31日(火)

○お申し込み・お問い合わせ

佐賀支所建設課 土木係

☎ 55-3700 (課直通)



平成26年度コミュニティ助成事業を実施しました

財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。

この事業は、コミュニティ活動の促進と健全な発展が図られることを目的に助成を行っています。

【本谷地区】



本谷地区では、老朽化したお神輿を整備しました。



秋まつりでは、神輿が地域内を回り、にぎわいを見せました。

【荷福地区】



荷福地区では、老朽化したお神輿を整備しました。

地元住民によって代々継承してきた祭りを、今後も引き続き開催できるように、必要な備品を宝くじの助成金で整備しました。



宝くじは、広く社会に役立てられています。

○お問い合わせ

本庁 総務課 企画振興係

☎ 43-2177 (直通)

人権擁護委員 再任のお知らせ

黒潮町内で活動している人権擁護委員6人のうち、矢野智子さんが任期満了となりましたが、10月1日から3年間、再任となりました。

引き続き人権擁護活動にご尽力いただき、特設人権相談所や個別相談などで、あなたの悩みや相談をお受けします。



矢野 智子
(拳ノ川)
☎55-7149

◆他の黒潮町の人権擁護委員

- 大塚一福(不破原)
- 谷口明男(佐賀)
- 廣井雅人(入野)
- 矢野博幸(入野)
- 矢野健康(馬荷)

◆人権擁護委員とは？

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、法務大臣から委嘱され、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動を行う民間ボランティアです。

人権擁護委員制度は、さまざま

な分野の人たちが人権思想を広め、地域の中で人権が侵害されないように配慮して人権を擁護していくことが望ましいという考えから設けられたもので、諸外国に例を見ない制度です。現在、全国で約1万4千人(うち女性約6千人)の方が、法務局・地方法務局の職員とともに、人権侵害事件の調査処理、人権相談、人権啓発活動などを行っています。

心配ごと・困りごと、
人権・行政相談所の開催

皆さんの相談を社会福祉協議会相談員、人権擁護委員、行政相談委員などが受ける相談所を開きます。皆さんの心の負担が少しでも軽くなればと考えています。家庭での心配ごと、地域でのめんどごと、人権侵害や行政に関する相談など、ひとりで悩まず気軽にご相談ください。相談の秘密は必ず守り、料金は無料です。安心してお越しください。予約不要。

◆開催日時・場所

- 11月14日(金) 午前10時～正午 鞭集会所
- 11月14日(金) 午後1時～3時

浮津集会所

- 12月4日(木) 午後1時～3時 総合センター(佐賀支所前)
 - 12月5日(金) 午後1時～3時 保健福祉センター(本庁前)
- お問い合わせ
本庁 住民課 人権啓発係

☎ 43-2800 (課直通)

無料弁護士相談会の開催

黒潮町では、多様化する消費者相談、家庭や職場、地域での悩み相談に対応するため弁護士をお招きし、無料相談所を開設します。

近年町内でも悪質商法による高齢者の被害や、多重債務を抱える方の相談も増えていきます。日ごろ、なかなか相談できないこともこの機会に相談してみませんか。

◆開催日時・場所

- 11月20日(木) 午後6時～9時 保健福祉センター(本庁前)
 - 12月10日(水) 午後6時～9時 総合センター(佐賀支所前)
- ※相談時間は1人30分以内。
(事前予約制)

※相談は無料、秘密は厳守します。

○お申し込み・お問い合わせ
本庁 住民課 人権啓発係

☎ 43-2800 (課直通)
本庁 産業推進室 商工観光係
☎ 43-2113 (課直通)

弁護士資格のある人権擁護委員による人権相談所のご案内

四万十人権擁護委員協議会と高知地方法務局四万十支局では、弁護士資格のある人権擁護委員による人権相談を、四万十支局において開設します。ひとりで悩まず、ご相談ください。

日時 11月10日(月)
午後1時～3時

場所 高知地方法務局四万十支局(四万十市右山五月町3-12)

※日時は変更となる場合があります。予約の際にご確認ください。
※相談時間は1人30分以内。
(事前予約制)

※相談は無料、秘密は厳守します。
○お申し込み・お問い合わせ

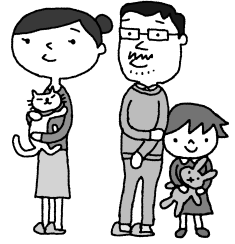
高知地方法務局四万十支局
☎ 34-1600



すべての人が大事にされる町をめざして 「黒潮町人権尊重のまちづくり条例」制定

9月黒潮町議会定例会で「黒潮町人権尊重のまちづくり条例」が可決され、9月18日に施行されました。

この条例は、すべての人の人権が尊重され、安心して生活ができる明るいまちづくりをめざし、町と町民が一体となって取り組むためのものです。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



黒潮町人権尊重のまちづくり条例(抜粋)

※全文は、黒潮町ホームページなどでご覧になれます。

第1条(目的)

- 日本国憲法および世界人権宣言を基本理念として、基本的人権が尊重されるまちづくりのため、町および町民(町内に事務所などを有する団体などを含む)の責務を明らかにする。
- 人権に関する施策の推進に関し必要な事項を定め、同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者、HIV感染者など、外国人、犯罪被害者など、インターネットによる人権侵害、災害と人権などあらゆる人権に関する問題の解決への取り組みを推進し、人権が尊重される明るいまちづくりの実現に寄与する。

第2条(町の責務)

- 目的を達成するため、人権が尊重される社会の環境づくりを図る。
- 人権意識を高めるための教育・啓発に関する施策を積極的に推進する。

第3条(町民の責務)

- 家庭、地域、学校、職場などあらゆる生活の場において、互いに人権を尊重し、自らが人権尊重のまちづくりの担い手であることを認識し、人権意識の向上に努める。
- 町が実施する人権施策の推進に協力する。

第4条(施策の推進)

- 人権施策を策定し、総合的かつ計画的に推進するよう努める。

第5条(教育・啓発活動の充実)

- 学校、家庭、各種組織などと連携し、教育・啓発活動の充実に努める。
- 差別をしない、させない、許さない世論の形成や人権擁護の環境づくりを促進する。

第6条(実態調査などの実施)

- 必要に応じ実態調査などを行う。

第7条(推進体制の充実)

- 国、県、関係団体などとの連携を図り、推進体制の充実に努める。

第8条(協議会)

- 人権施策の推進に関し、重要事項を調査審議するため、黒潮町人権尊重のまちづくり協議会を置く。

【お問い合わせ】本庁 住民課 人権啓発係 ☎43-2800(課直通)

「黒潮町史」編さん事業開始

平成18年3月の黒潮町発足から、間もなく10年の節目を迎えようとしています。黒潮町教育委員会では、本町と旧町の歴史的な発展の足跡を振り返り、その歴史を町の財産として後世へ残し伝えていくため、黒潮町史を発刊することとしました。既刊「大方町史」、「佐賀町郷土史」などをはじめ、合併前の旧両町に関する歴史的資料を尊重しつつ、新たな資料の調査、研究に努めます。

黒潮町史は、今年度より3年をかけて編さん業務に取り組み、平成28年度末の発刊を予定しています。執筆編集、印刷製本などについては、出版社に委託することとし、6月に立ち上げた黒潮町史編さん委員会の委員には、主に資料収集に関わっていただきます。

委員の皆さんから問い合わせがあった際は、ぜひご協力をお願いします。また、参考となりそうな資料などをお持ちの方は、教育委員会までお知らせください。

○お問い合わせ

教育委員会生涯学習係

☎55-3190(課直通)

お知らせ

在宅介護者の集い

介護を必要とする人の割合は年々増えていきます。それに伴って介護者の負担や不安も多くなっています。介護者の孤立を防ぎ、心身のリフレッシュを図るために「在宅介護者の集い」を開催します。日頃の介護体験などを話し合い、介護者相互の交流を図りませんか。参加希望者は、左記までご連絡ください。

日時 11月18日(火)

午前10時～11時30分

場所 保健福祉センター(本庁前)

2階 健康研修室

問 地域包括支援センター

☎43-2240(直通)

傾聴ボランティア養成講座

自分の話に耳を傾けて聞いてくれるだけで、心の底にあった悩みや寂しさが軽くなることがあります。上手に聴くコツや知識を身につけて「お話し相手」のボランティアを一緒に始めてみませんか。

(2日間、修了証発行、参加無料)

日時 11月19日(水)

午前10時～午後3時30分

11月20日(木)

午前9時30分～午後1時30分

場所 保健福祉センター(本庁前)

講師 高知とんぼの会

定員 20人(定員に達し次第締切)

申問 黒潮町社会福祉協議会

☎43-0315

こころの健康フォーラム2014
〜笑いと癒しと感動と〜

日時 12月10日(水)

午前10時～午後3時

場所 四万十市立中央公民館

2階大ホール

内容

〈午前の部〉

・コーラス・マジック・大正琴演奏・フラダンス・ちんどんパフ

・オーマンスなどのイベント

・障がい者就労支援事業所の活動紹介や相談窓口の展示

・幡多地域の作業所販売・昼食販売

〈午後の部〉

・ミニコンサート

・講演「笑いヨガとこころの健康」

・笑顔は全てを良くする万能薬

・笑顔は全てを良くする万能薬

・笑顔は全てを良くする万能薬

・笑顔は全てを良くする万能薬

くろしおっ子の学校給食

ゆず香和え



●材料(4人分)●

- キャベツ 大3~4枚分
- きゅうり 1本
- にんじん 20g
- かちりじゃこ 大さじ1
- きざみ昆布 少々
- A { 酢 大さじ1
- ゆず果汁 大さじ1
- 砂糖 大さじ1と1/2
- うすくち醤油 小さじ2
- 塩 小さじ1/4

【作り方】

- ①きゅうり(薄切り)、にんじん(干切り)、キャベツ(食べやすい大きさ)、きざみ昆布は1~2センチの長さに切る。
- ②熱湯で色よく茹でて、素早く冷まして水気を切る。
- ③Aの調味料を混ぜ合わせる。
- ④食材をAの調味料で和える。

高知県特産のゆず果汁を使った、フルーティーな香りで、すっきりした味の一品です。かちりじゃこをプラスすることで、うま味や歯ごたえがあり、体にもやさしいですね。給食でも人気ですよ。

○お問い合わせ

大方学校給食センター ☎31-3201(直通)
佐賀学校給食センター ☎55-2166(直通)

最低賃金改正のお知らせ

高知県最低賃金は、10月26日から、1時間677円です。

問 高知労働局 賃金室

☎088-885-6024

☎435-3148

☎435-3148

お詫びと訂正

広報10月号の記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

▼6ページ

「学校だより(佐賀小学校)」

3段目・表 学年右端

(誤)5年↓(正)6年

▼9ページ

「備えて安心(コミュニティ助成事業)」1段目

(誤)成26年度↓(正)平成26年度

(誤)平成17年↓(正)平成16年

(誤)平成17年↓(正)平成16年



ニュージーランド訪問団がやってきました!

9月30日から10月6日までの1週間、ニュージーランド(以下「NZ」)のフェアフィールド中学校より、生徒16人、引率者4人、計20人の訪問団が来町しました。

町内中学生のNZ派遣事業は毎年行われていますが、NZからの訪問は2年ぶり。学校訪問を受け入れた佐賀・大方両中学校では、積極的にコミュニケーションをとる姿が見られました。生徒からは「来年、派遣研修でNZに行きたい」との声が聞かれ、国際交流への関心も高まったようです。

在町中、NZ生徒16人は町内の家庭にホームステイ。日本の食文化や生活習慣を体験し、家族の一員として過ごしました。受け入れた家庭からは「はじめは不安だったけど楽しくてあっという間の1週間だった」「次回も受け入れたい」という声が聞かれました。

最後に、ホームステイを受け入れてくださったご家庭、塩づくりやタタキづくり、茶道やささこい鳴子踊りの体験をしてくださった皆さん、交流の機会を設けてくださった学校関係者の方々、多大なご協力をありがとうございました。(生涯学習係)

※関連記事4〜7ページ



NEWZEALAND × KUROSUSHIO



NZ訪問団の20人は、黒潮町の美しい自然を満喫し、海との関わりが深い独特の文化を体験。中学生や住民と交流を深めました。

【写真】 1・交流授業 2・書道 3・給食(1~3、佐賀中学校) 4・フラフープリレー 5・交流授業 6・剣道(4~6、大方中学校) 7・藁焼きタタキづくり体験 8・ホストファミリーらと交流パーティー(7・8、黒潮一番館) 9・茶道体験(黒潮町野点の会) 10・よさこい鳴子踊り 11・お礼にハカダンスを披露(10・11、カズダンススクール) 12・天日塩づくり体験(土佐の塩丸)

黒潮町イベントカレンダー

2014(平成26)年11月

変更となる場合がありますので、詳しくは担当係にお問い合わせください。(青字=町外で開催される行事)

月日(曜)	行 事 名	場 所	時 間	お問い合わせ
11/1(土)	子ども防災フェス	土佐西南大規模公園(大方)	10:00	消防防災係 ☎43-2188
5(水)	黒潮町民大学④ 片岡亮太さん	総合センター	19:00	生涯学習係 ☎55-3190
6(木)	黒潮町戦没者追悼式	ふるさと総合センター	10:00	福祉係 ☎43-2116
8(土)	第52回大方の秋まつり【作品展示】(～9日)	土佐西南大規模公園体育館	9:00	生涯学習係 ☎55-3190
	シクラメン祭り(～16日)	大方生華園内ハウス	9:00	大方生華園 ☎43-3666
9(日)	幡多・マーケット「海辺の日曜日」	土佐西南大規模公園(大方)	9:00	まちづくりマーケットプロジェクト ☎090-2786-3702
	黒潮町健康ウォーキング	土佐西南大規模公園体育館	9:40	国保係 ☎43-2800
	第52回大方の秋まつり・ 第2回黒潮町まるごと産業祭	土佐西南大規模公園(大方)	10:00	生涯学習係 ☎55-3190 商工観光係 ☎43-2113
14(金)	第20回潮風のキルト展(～16日)	入野松原	9:30	NPO砂浜美術館 ☎43-4915
	心配ごと・困りごと、人権・行政相談所	鞭集会所、浮津集会所	10:00	人権啓発係 ☎43-2800
	黒潮町民大学⑤ エスペランサさん	大方あかつき館	19:00	人権啓発係 ☎43-2800 生涯学習係 ☎55-3190
16(日)	入野松原保存会一斉清掃	入野松原・浮津・浮鞭海岸	8:00	商工観光係 ☎43-2113
	らっきょうの花と潮風のぶらぶらウォーク	土佐西南大規模公園(大方)	9:00	NPO砂浜美術館 ☎43-4915
	秋のウォーキング	宿毛市～宇和島市	7:00	生涯学習係 ☎55-3190
	第9回黒潮町社会福祉大会・福祉まつり	保健福祉センター	10:00	社会福祉協議会 ☎43-2835
20(木)	無料弁護士相談会	保健福祉センター	18:00	人権啓発係 ☎43-2800 商工観光係 ☎43-2113

■当直医療機関一覧表

月	日	四万十市	宿毛市
11月	16日(第3日曜日)	四万十市立市民病院 ☎34-2126	聖ヶ丘病院 ☎0880-63-2146
	23日(第4日曜日)	大野内科 ☎37-5281	大井田病院 ☎0880-63-2101
	24日(振替休日)	山下整形外科 ☎34-0511	田村内科クリニック ☎0880-63-1668
	30日(第5日曜日)	竹本病院 ☎35-4151	筒井病院 ☎0880-66-0013
12月	7日(第1日曜日)	四万十市立市民病院 ☎34-2126	奥谷整形外科 ☎0880-63-1202
	14日(第2日曜日)	木俣病院 ☎34-1211	大西内科胃腸科 ☎0880-63-1267

※当直医は、変更になる場合がありますので、あらかじめ確認してから受診してください。

※平日夜間(午後6時～9時)は、夜間初期救急対応(内科)・四万十市急患センター(四万十市立市民病院西棟) ☎34-2399へ電話相談または受診してください。

■拳ノ川診療所 12月の診療予定

【診療時間】午前9時～正午、午後2時～5時(記載がある場合はその時間まで)

	日	月	火	水	木	金	土
午前		1	2	3	4	5	6
午後		外来診療	外来診療		外来診療		
午前	7	8	9	10	11	12	13
午後			外来診療 伊与喜出張診療		外来診療 外来診療(6時まで)		
午前	14	15	16	17	18	19	20
午後					外来診療 外来診療	外来診療	
午前	21	22	23	24	25	26	27
午後				外来診療 鈴出張診療	外来診療 外来診療(6時まで)		
午前	28	29	30	31			
午後							

医師の都合により変更となる場合がありますので、予約外の方は事前にお電話でご確認ください。

【お問い合わせ】拳ノ川診療所 ☎55-7111(直通)

図書館カレンダー

大方・佐賀図書館
(□の日が休館日です。)



11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6

第16回企画展*II
『過ぎゆきの歌』
～愛に生きた郷土の青年歌人～
同時開催 植田馨追悼展

【期間】 12月27日(土)まで
【会場】 上林暁文学館
(大方あかつき館2階)

秋の名画座・あかつき
11月8日(土)
ごぜん 10:30～
「アナと雪の女王」
ごご 2:00～
「北のカナリアたち」
場 所: 大方あかつき館
レクチャーホール
入場料: 無料

キャンドルと
フォルクローレの夕べ
11月15日(土)
キャンドルとアンデス音
楽のコラボレーション♪
時 間: **キャンドルナイト**
午後6:00～9:00
フォルクローレ演奏
午後6:30～8:00
場 所: 大方あかつき館
入場料: 無料

あたらしくはいった本紹介

- 荆棘の実 柳原白蓮
- かわうそ
- 孤独の力
- 虹の向こうの未来へ
- 子どもの写真整理術
- 一生作り続けたいおかず
- 怒り始めた娘たち「母娘ストレス」の処方箋
- がりばあとなぞの石
- とんとんとんとんひげじいさん
- どんぐりむらのぼんやさん

柳原 白蓮／著
あさのあつこ／著
五木 寛之／著
遠藤美恵子／著
EMI／著
田中 伶子／著
香山 リカ／著
たからしげる／著
藤本ともひこ／著
なかやみわ／著

開館時間
【月・火・水・金】
午前10時～午後6時
【土・日】
午前10時～午後5時

★ 佐賀図書館は午後1時～2時まで閉館。
★ 木曜日は休館日です。

貸出冊数・期間
【本】
1人5冊・2週間
【雑誌】
1人3冊・2週間
【ビデオ・CD・DVD】
1人2点・1週間

★ 本の新刊は1週間です。
★ 返却期限をお守りください。
返却期限を過ぎると督促を行い、その後貸出停止の処理を行います。
★ 借りた本やビデオなどを紛失や破損した場合は、弁償していただく場合があります。

返却するとき
● 佐賀・大方どちらの図書館でも返却ができます。
● 休館日に返却する時は各図書館にあるブックポストに入れてください。
● ビデオ・CD・DVDは開館時の受付窓口へ返却してください。

○ お問い合わせ
大方図書館 ☎43-2110(直通)
佐賀図書館 ☎55-3150(直通)

<http://akatsuki.town.kuroshio.lg.jp/akatsuki>

〈水道給水工事指定店 当番一覧表〉

月	日	大方地域		佐賀地域	
		事務所	自宅	事務所	自宅
11	10～16	中村住設大方営業所		(株) 土居建設	谷口水道
	17～23	前田電工	平野住設	(有) 弘瀬建設	
	24～30	吉本水道	クソソライフラインサービス	山本建設(株)	拳ノ川住設
12	1～7	大方設備センター	野村企画設備	(株) 土居建設	谷口水道
	8～14	中村住設大方営業所		(有) 弘瀬建設	
	15～21	前田電工	平野住設	山本建設(株)	拳ノ川住設

● 当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応します。

店名	住所	電話番号		店名	住所	電話番号	
		事務所	自宅			事務所	自宅
大方設備センター	入野769	43-1420	43-1483	吉本水道	下田の0822-174	43-2024	
クソソライフラインサービス	入野1769	43-3075		拳ノ川住設	拳ノ川1781	55-7371	55-7114
中村住設大方営業所	出口372-2	34-3621	43-2061	谷口水道	佐賀2773	55-2316	
野村企画設備	田野浦1593	43-4665		(株) 土居建設	伊与喜43-5	55-2133	55-2363
平野住設	伊田2100	44-1513	44-1117	(有) 弘瀬建設	佐賀1990	55-2121	
前田電工	入野1574	43-1149	43-1546	山本建設(株)	佐賀2988	55-3141	55-2076

○お問い合わせ 本庁 まちづくり課 水道係 ☎43-2114(直通)

くろしおつ子を紹介します！

町内在住の子どもたちを、お家の方からのメッセージといっしょに紹介します。



岡田 壮大くん
 〈平成26年1月27日生まれ〉
 お兄ちゃんと仲良く大きく育ってね。〈父・母より〉



大砂 紅慈ちゃん
 〈平成26年1月23日生まれ〉
 お兄ちゃんと一緒に元気に大きくなってね。〈父・母より〉



中平 柚希乃ちゃん
 〈平成26年4月16日生まれ〉
 元気に大きくなってね。〈パパ・ママより〉



武政 和奏ちゃん
 〈平成26年4月25日生まれ〉
 お姉ちゃんと仲良く元気に育ってね。〈お父さん・お母さんより〉



野村 樹生くん
 〈平成25年11月28日生まれ〉
 いつまでも元気で明るいいつきでおってね。〈お父さん・お母さんより〉



掛橋 凜汰朗くん
 〈平成25年10月11日生まれ〉
 元気で大きくなってね。〈お母さんより〉

「写真募集中！」子どもたちの成長の記念に写真を掲載してみませんか？
 左記まで写真（デジタルカメラの場合はデータ）とメッセージをお寄せください。
 お問い合わせ先 本庁 総務課 企画振興係

☎ 43-2177 (直通)
 ✉ somu@town.kuroshio.lg.jp

地域子育て支援センター通信

肌寒くなりましたができるだけ薄着の習慣を身につけましょう。

11月の予定

★佐賀おでかけ広場

毎週火曜日
 午前9時30分～11時30分
 場所／佐賀保育所一時保育室



★いっしょに遊ぼう

※中止する場合は事前にお知らせします。
 午前9時30分～11時30分
 6日（木）お庭であそぼう
 13日（木）作ってあそぼう
 27日（木）誕生会

★秋の合同遠足

場所／地域子育て支援センター
 11日（火）午前10時現地集合
 雨天の場合 14日（金）
 場所／下田公園 ※お弁当は自由。

★第8回子育て講座

13日（木）午前10時～11時
 「親子で楽しく運動遊び」
 講師／運動の家庭教師

場所／大方中央保育所遊戯室
 別所祐之介さん

お問い合わせ

地域子育て支援センター

（大方中央保育所内）

☎ 43-0512 (直通)

認知症は予防できる！改善できる！

認知症予防講演会

～水・運動・排便・栄養で認知症予防～

入場無料
 どなたでも参加
 できます。

認知症は65歳以上で10人に1人の割合で発症すると言われており、誰でもなる可能性があります。日々の生活の仕方で改善や予防できることが分かってきました。

多くの改善事例に関わり、全国的にも活躍されている講師をお招きして講演会を開催します。

日時／11月29日（土）午前9時30分～正午

場所／大方あかつき館 レクチャーホール

講師／鳥取県琴浦町 森本外科・脳神経外科医院 副院長・看護師長 金田弘子さん

【お問い合わせ】地域包括支援センター ☎43-2240 (直通)

